

アルジェリア政治・経済月例報告  
(2016年2月)

平成28年3月  
在アルジェリア日本国大使館

1. 内政

● 憲法改正案の両院議会採択

7日、アルジェにおいて開催されていた両院議会は、ブーテフリカ大統領のイニシアティブによる憲法改正案を賛成多数で可決した。ベンサラ国民評議会議長によると、挙手で行われた投票結果は、賛成499票、反対2票、棄権が16票であった。なお、出席した議員は512名で、5名が委任状を提出していたため、517名の議員が投票に参加したことになり、388票の賛成で同改正草案が採択されることになる。85名の議員が不参加。

● 大統領府筋による声明

18日、大統領府から許可を得た筋はアルジェリア国営通信社(APS)に対し、「政府の総辞職は改正憲法上に規定がなく、その可能性はない」と述べた。両院議会による憲法改正案が可決された後に、内閣改造の噂が高まっている中でなされたこのような大統領府筋の声明の意図について、様々な憶測が飛び交うことになったが、2月中の内閣改造はなかった。

● ブーテフリカ大統領のブラヒミ元外相との会談

憲法改正案が議会で採択された7日、ブーテフリカ大統領は来訪したブラヒミ元外相と会談した。ここ数年、ブーテフリカ大統領は同元外相と頻りに公式会談を行っており、次期大統領候補者としても有力であるとされてきたが、16日に当地テレビ局に出演した同元外相は、明確に、次期大統領になるつもりはないと述べたことが報じられた。

2. 外交

● シャノン米国務次官(政治担当)の来訪

20-22日、シャノン米国務次官(政治担当)がアルジェに来訪した。21日、同次官はラマムラ外相と会談し、両国関係、地域・国際情勢について協議した。同日、セラル首相、メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当相とも会談、また、22日にはブシュアレブ産業・鉱業大臣やイーサ宗教大臣とも会談を行った。ラマムラ外相は、「国際合法性、リビアの国家主権、安全及び安定

の遵守」の範囲内でリビアにおけるテロに対抗する必要があるとして、間接的に米軍によるリビア ISIL 空爆を批判したと報道された。

#### ● セラル首相とメルケル独首相との電話会談

23日、セラル首相はメルケル独首相と電話会談をおこない、両国関係、アルジェリア人引き渡し、リビア情勢等につき協議した。また、29日には、デ・メジエール独連邦内務相が当地に訪し、昨年末に発生した、ケルンでの移民による犯罪行為に関する問題等について協議を行った。

#### ● ラブロフ露外相の来訪

26日、メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当相はモスクワで開催された第3回アラブ・ロシア協力フォーラムに参加した。同日、ラブロフ露外相と会談し、アルジェリアがシリアに介入しないと発言した。また、29日、ラブロフ露外相がアルジェリアに訪し、ブーテフリカ大統領、セラル首相、ラマムラ外相と会談を行った。

### 3. 治安

#### ● ダーイシュ関係者32名の拘束

報道によれば、ブーメルデス県司法警察は、32人から成るアルジェリアのIS組織のメンバーを検挙した。同組織はアブ・マラム・エル・ジャザイリ、本名マリミ・モハメドを首領とし、同人は同組織の「シャリーア（イスラム法）将校」であった。32人の中に女性4人が含まれており、その1人はアブ・マラムの妻であった。治安関係筋が明かしたところ、32人の逮捕に先立つ数日前、同組織に属する他の21人のメンバーが検挙されている。その中に含まれる女性8人は、ISILの下で「婚姻ジハード」を行う目的でシリアへの渡航を準備していた由である。

#### ● 米軍によるリビア ISIL 空爆

19日、リビアの西部に位置するサブラタにおけるISIL拠点を米軍が空爆を行ったが、これ以前にアルジェリア軍は、イナメナス事件が起きた当地イリジ県とリビアとの国境地帯における警備・警戒のレベルを強化していたことが報じられている。即ち、ヌーバ憲兵隊司令官が16日、イリジ県の国境警備隊部署を訪問しており、外国部隊がリビアに軍事介入する可能性が高まり、これが隣国に及ぼす影響が危惧されている中、憲兵隊は防衛措置としてイリジ県のリビア国境警備に戦闘体制で臨んでおり、精鋭射撃隊や戦闘部隊が空域を含め24時間体制でパトロールを行っている旨報じられていた。

#### ● パリ連続テロ攻撃主犯との交友関係者拘束

報道によれば、2月末、昨年11月13日にパリ同時多発テロへの加担容疑により、当時ベルギーに居住していたアルジェリア人1名を、当局はアルジェリア北東部ベジャイア県で逮捕した。3月2日に行われたルー司法相の記者会見によると、同人はベルギー・ブリュッセル在住者であり、去る2月9日にアルジェリアへ帰国していた。また、本件の逮捕の糸口は、外国テレビが報じたパリ同時多発テロの主犯であるアブデルハミード・アバアウドの写真に、同人とともにもう1人別の人間が写っていたことであった由。

#### 4. 経済

##### ● 2015年第3四半期のGDP

6日、国家統計局(ONS)は、2015年第3四半期のGDPを発表した。同発表によると、2015年第3四半期のGDP成長率は3.3%(前年同期が5%)と、1.7%減となった。また2015年第3四半期の名目GDPは4兆1,552億アルジェリアン・ディナール(DA)となった(前年同期は4兆3,343億DA)。

##### ● ブーテルファ・ソネルガス社総裁の対外借入に関する発言

15日、ブーテルファ国営電気ガス公社ソネルガス社総裁は、当地政府系エル・ムジャヒド紙主催の経済フォーラムに出席し、ソネルガス社の2015年度の投資額が5,880億アルジェリアン・ディナール(DA)であったと報告した。また同代表は、2025年を目処に、再生可能エネルギー分野に約5兆DAの投資を行うと発表した。同社の中・長期的な投資計画に関し、ブーテルファ総裁は、資金調達のために将来的に海外金融機関を利用することを検討していると述べ、右投資計画を達成するためには1兆DAの資金を調達することが必要であると述べた。更に同総裁は、既に同社は対外借入に関する作業グループを設置したと述べつつも、実際に対外借入を行うには政府の許可が必要である旨強調した。

##### ● ヘブリ・エネルギー大臣の対外借入に関する発言

29日、ヘブリ・エネルギー大臣は、国営ラジオのチャンネル1(Chaîne 1)に出演し、サウジアラビアとロシアが原油生産の減産に合意したとの報道に関し、本年3月にOPEC加盟国と非加盟国との間で右合意に関する協議を行うと発表した。また、原油価格の下落は今後の投資計画に影響を与えるものではないと発言した上で、今後もエネルギー分野の投資を継続していくと述べた。国営炭化水素公社ソナトラック社の財政状況に関し、ヘブリ大臣は、今日に至

るまで同社は対外債務を抱えていないが、海外のエネルギー系企業のように、今後資金調達のために対外借入を行う可能性がある」と述べた。

## 5. 我が国との関係

### ● 藤原大使の当地ヒワール紙とのインタビュー

11日付当地ヒワール紙（アラビア語紙）は、「アルジェリアで日本の自動車工場設置に努める」のタイトルで、藤原大使とのインタビュー記事を掲載した。日本の建国記念日に掲載された同記事では、藤原大使により、1958年にまで遡るアルジェリアと日本との友好関係や、2年前から行われている ABE イニシアティブ（ビジネス・マネジメントの分野の優秀な若者に対する奨学制度）について紹介があり、また、経済分野での両国関係の更なる強化の必要性について述べられている。

### <アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
2月8日	アラブ首長国連邦	セラル首相	第4回世界政府サミット (World Government Summit) に出席
2月8日	フランス	メデルシ憲法評議会議長	ドゥブレ憲法評議会議長と会談等
2月11日	イラン	ヌーリ水資源・環境大臣	水資源分野における二国間協力調印式出席
2月12日	ドイツ	ハメル警察庁長官	ドイツ警察庁長官と意見交換
2月26日	ロシア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当大臣	第3回ロシア・アラブ経済協力フォーラムに出席

### <外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
2月1日	国連	コブラー・リビア問題担当特使	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当大臣と会談等

2月3日	中国	宮中東問題担当特使	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当大臣と会談等
2月3日	サウジ	ビンナーイフ皇太子兼内相	ブーテフリカ大統領と会談
2月7日	フランス	イダルゴ・パリ市長	ブーテフリカ大統領、セラル首相、ズーフ・アルジェ県知事と会談等
2月7日	ポーランド	ウロネッカ外務次官	ベレクシ外務次官と会談等
2月8日	デンマーク	ジェンセン外務大臣	ブーテフリカ大統領、ラマムラ外務大臣と会談等
2月9日	フランス	バルブ道路交通安全担当各省間代表	ベドゥイ内務大臣と会談等
2月14日	チュニジア	ジナウィ外務大臣	ブーテフリカ大統領、ラマムラ外務大臣、メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当大臣と会談等
2月17日	EU	セラーノ対外関係局長	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当大臣と会談等
2月19日	カザフスタン	ムシノフ外務副大臣	ラマムラ外務大臣、フェルーキ農業・水産資源大臣と会談等
2月20日	国連	ロス西サハラ問題担当特使	ラマムラ外務大臣、メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当大臣と会談等

2月21日	アメリカ	シャノン国務次官	セラル首相、ラマムラ外務大臣、メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当大臣と会談等
2月21日	南アフリカ	スクウェイヤ・パレスチナ問題担当特使、パハド・パレスチナ問題担当特使	ラマムラ外務大臣と会談等
2月24日	イラク	アル・アシャイジャー外務大臣	ブーテフリカ大統領、セラル首相、ラマムラ外務大臣と会談等
2月27日	オーストリア	リンハート外務次官	ラマムラ外務大臣と会談等
2月27日	ポルトガル	サントス・シルバ外務大臣	ラマムラ外務大臣と会談等
2月27日	ドイツ	ミュラー経済協力・開発大臣	ハジャル 高等教育・科学研究大臣とトレムセン県を視察等
2月28日	ドイツ	デマジエール内務大臣	ベドゥイ内務・地方自治大臣と会談等
2月29日	ロシア	ラブロフ外務大臣	ブーテフリカ大統領、セラル首相、ラマムラ外務大臣
2月29日	国連	天野 IAEA 事務局長	セラル首相、ヘブリ・エネルギー大臣、ラマムラ外務大臣と会談等
2月29日	ナミビア	ヌダイトワ副首相兼国際関係大臣	セラル首相、ラマムラ外務大臣、メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当大臣、ブシュアレブ産業・鉱業大臣と会

			談等
--	--	--	----

(了)